緑 ヶ 丘 団 地 地 区 管 渠 布 設

数　量　計　算　書

（補助）

数 量 総 括 表 [補助]

レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	単位	数量	備考
管 路					m	127.7	95.40 + 32.30
管きょ工(開削)					m	123.3	91.80 + 31.48 管路延長
＜管径200・150mm＞							
	管路土工						
		管路掘削					
			機械掘削	BH0.28m^3	m^3	127	127.4
			ダンプトラック運搬(4t積)(現場～仮置場)	L=1.0km以内	m^3	127	127.4
		管路埋戻					
			積込 (ルーズ)		m^3	80	79.6
			ダンプトラック運搬(4t積)(仮置場～現場)	L=1.0km以内	m^3	80	79.6
			流用土埋戻工	BH0.28m^3	m^3	80	79.6
		発生土処理					
			積込 (ルーズ)		m^3	39	38.8
			ダンプトラック運搬(10t積)(仮置場～処分場	DT10t,BH0.8㎥積込,L=6.2km	m^3	39	38.8 【補足】 現場からは仮置場は4tクラス 仮置き場から残土処理は10tクラス
			残土処分料		m3	39	38.8
	管布設工						
		硬質塩化ビニル管設置工					
			硬質塩化ビニル管設置工(材工共)	φ200	m	123	123.28
			人孔用可とう継手	φ200	箇所	6	6.00
		ポリエチレン管布設工					
		工	据付工(ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管(融着接合)布設)	φ150	m	33	32.8
			吊込み据付(鋳鉄管布設)	機械力 ,φ150mm	m	0.4	
			継手工(ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管(融着接合)布設)	φ150mm ,2口継手/箇所	箇所	10	
			継手工(ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管(融着接合)布設)	φ150mm ,1口継手/箇所	箇所	3	
			ﾌﾗﾝｼﾞ継手(鋳鉄管布設)	JWWA 7.5K ,φ150mm	口	3	
			ポリエチレン管切断工	φ150	口	5	
			支持金具設置工		個所	12	
			コンクリート削孔	φ150	箇所	1	
		ポリエチレン管材料					
		材	片受け直管 EF受口	150×5m	本	2	
			保護層付直管	150×5m	本	5	
			曲管 EF受口	150×90°	個	1	
			保護層付曲管	150×90°	個	1	
				150×45°	個	2	
				150×22 1/2°	個	1	
			保護層付カラー EF受口	150	個	10	
			保護層付フランジ短管 EF受口	150	個	2	
			三受フランジT字管 鋳鉄製	150×150	個	1	
			フランジ蓋	150×7.5K	枚	1	
			フランジ接合材	150×7.5K	組	3	
			マンホール継ぎ手	150	個	2	
			支持金具	150	組	12	

数 量 総 括 表 [補助]

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	単位	数量	備 考
工事区分	工種	種別	細別	規格			
		管基礎工					
			砂基礎				
				砂基礎工　機械	m^3	33	32.8
		管路土留工					
			軽量鋼矢板土留				
				軽量鋼矢板建込工　H=2.0m,1段　BH0.28m^3	m	61	60.6
				軽量鋼矢板引抜工　H=2.0m,1段　BH0.28m^3	m	61	
				軽量鋼矢板賃料　軽量鋼矢板2型、供用日数13日	t	7	
				土留支保工(軽量金属支保工)　H=2.0m,1段	m	61	60.6
				腹起し賃料　H=2.0m,1段	式	1	
				切梁賃料　H=2.0m,1段	式	1	
	マンホール工						
		組立マンホール工					
			1号組立マンホール				
				組立マンホール　1号 ,3m以下	箇所	1	1
				ﾏﾝﾎｰﾙ鉄蓋　φ600用 T-14　浮上防止 かぎ付き	組	1	1
				無収縮モルタル　25kg	袋	1	1
				調整リング　600×100	個	1	1
				組立式1号人孔　(Ⅰ種)斜壁ﾌﾞﾛｯｸ H=300	個	1	1
				組立式1号人孔　(Ⅰ種)躯体ﾌﾞﾛｯｸ H=1200	個	1	1
				組立式1号人孔　(Ⅰ種)底版ﾌﾞﾛｯｸ H=130	個	1	1
				底部工　組立式1号ﾏﾝﾎｰﾙ	箇所	1	1
				削孔費(ﾋｭｰﾑ管)　1号人孔 φ200用	ヶ所	2	2　814.815の流入
			0号組立マンホール				
				組立マンホール　0号 ,2m以下	箇所	1	1
				人孔鉄蓋　φ600用 T-14　浮上防止 かぎ付き	組	1	1
				無収縮モルタル　25kg	袋	1	1
				調整リング　H=150	個	1	1
				組立式0号人孔　(Ⅰ種)斜壁ﾌﾞﾛｯｸ H=450	個	1	1
				組立式0号人孔　(Ⅰ種)躯体ﾌﾞﾛｯｸ H=900	個	1	1
				組立式0号人孔　(Ⅰ種)底版ﾌﾞﾛｯｸ H=130	個	1	1
				底部工　組立式0号ﾏﾝﾎｰﾙ	箇所	1	1
				削孔費(ﾋｭｰﾑ管)　0号人孔 φ200用	ケ所	1	
		小型ﾏﾝﾎｰﾙ工					
			小型マンホール				
				小型マンホール工(塩ビ製)材工共　起点及び中間形式　2m以下	箇所	3	3
				鋳鉄製防護蓋　φ300 T-14	個	3	3

数 量 総 括 表 [補助]

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5		単位	数量	備　　考
工事区分	工種	種別	細別	規格				
取付管および汚水桝工								
	取付管布設工							
		取付管土工						
			機械掘削	BH0.13m^3		m^3	3	2.5
			ダンプトラック運搬(2t積)(現場～仮置場)	L=1.0km以内		m^3	3	2.5
		取付管埋戻工						
			積込　　(ルーズ)			m^3	2	1.5
			ダンプトラック運搬(2t積)(仮置場～現場)	L=1.0km以内		m^3	2	1.5
			流用土埋戻工	BH0.13m^3		m^3	2	1.5
			砂埋戻工	BH0.13m^3		m^3	1	0.7
		発生土処分工						
			積込　　(ルーズ)			m^3	1	0.9
			ダンプトラック運搬(10t積)(仮置場～処分場	DT10t,BH0.8㎥積込,L=6.2km		m^3	1	0.9
		取付管布設工						
			取付管布設及び支管取付工(材工共)	φ150　L= 1.38 m		箇所	4	4
			エンドキャップ	φ150		個	4	4
付帯工								
	構造物撤去工							
		舗装版切断工						
			舗装版切断	アスファルト 15cmまで		m	216	
		舗装版破砕						
			舗装版破砕	BHによる直接掘削 アスファルト t=10cm以下		m^2	102	
		コンクリート構造物取壊し						
			構造物取とりこわし	集水桝、水路		㎥	10	図面11より
		殻運搬						
			舗装版切断汚泥運搬	L=73.8km　　'		台	1	0.023*0.04*(215.5+241.0)=0.395㎥
			処分料	カッター汚泥		t	0.6	1.4*0.395=0.55t
			殻運搬	As　L=5.5km		m^3	4	
			処分料	再生As-9		m^3	4	
			殻運搬	Con　L=5.5km		m^3	10	
			処分料	再生As-9		m^3	10	
	舗装工							
		路盤工						
			上層路盤(車道・路肩部)	RM-30　t=11cm		m^2	102	
		表層工						
			表層(車道・路肩部)	仮復旧　再生密粒度As　t=3cm		m^2	102	

数 量 総 括 表 [補助]

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	単位	数量	備　　考
工事区分	工種	種別	細別	規格			
	安全費						
		安全費					
			交通誘導員	交通誘導警備員B	人	38	
	仮設工						
		足場工					
			足場工	単管足場	㎡	34	
共通仮設							
	共通仮設費						
		運搬費					
			仮設材運搬費		t	7	
			積込み,取卸し費(仮設材等)		t	7	
		技術管理費					
			施工調査費		m	123	
			報告書作成工		m	123	

管径 φ200

管 材 料 計 算 表

補助

番号	路線番号	人孔番号 (下流) (上流)	区間距離 L (m)	人孔減長 L″ (m)	管体延長 L-L″ (m)	硬質塩化ビニル管 φ200 直管 SRA 4.00m (本)	直管 PE 4.00m (m)							可とう継手
1	810-2	No.810-2-5 No.810-2-7	48.70	0.37 0.45	47.88	11	3.88							1
2	810-2	No.810-2-7 No.810-2	7.70	0.45 0.45	6.80	1	2.80							1
3	816	No.817-2 No.816-1	5.00	0.45 0.29	4.26	1	0.26							1
4	816	No.816-1 No.816-2	21.00	0.20 0.29	20.51	5	0.51							
5	816	No.816-2 No.816-3	13.00	0.20 0.45	12.35	3	0.35							1
6														
7														
8														
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														
合 計			95.40	3.60	91.80	21	7.80							4

管径 φ150

管 材 料 計 算 表

補助

番号	路線番号	人孔番号 (下流) (上流)	区間距離 L (m)	人孔減長 L″ (m)	管体延長 L-L″ (m)	下水道用ポリエチレン管 φ150 直管 保護層付直管 5.00m (本)	直管 保護層付切管 (m)	曲管 片受90° 1.40m (個)	曲管 保護層付90° 1.30m (個)	曲管 保護層付22 1/2° 0.57m (個)	曲管 保護層付45° 0.77m (個)	フランジ管 フランジT字管 0.38m (個)	フランジ管 保護層付フランジ短管 0.28m (個)	可とう継手
		No.824-1-6		0.45										
1	810-2	No.810-2-1	4.40		3.95		3.25	1						1
		No.810-2-1												
2	810-2	No.810-2-2	5.10		5.10		4.17		1					
		No.810-2-2												
3	810-2	No.810-2-3	12.00		12.00	2	0.40			1		1	1	
		No.810-2-3												
4	810-2	No.810-2-4	6.60		6.60	1	0.83				1			
		No.810-2-4												
5	810-2	No.810-2-5	4.20	0.37	3.83		3.44				1			1
6														
7														
8														
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														
合 計			32.30	0.82	31.48	3	12.09	1	1	1	2	1	1	2

管径　φ200　外径 φ216　　φ150　　φ165

本 管 土 工 数 量 計 算 表

φ200 管断面＝　0.0366
φ150 管断面＝　0.0214

補助

番号	路線番号	人孔番号 No.	管径 (mm)	区間距離 (土工減長) L (m)	管体延長 (砂基礎減長) L' (m)	掘削幅 W (m)	掘削深 H (m)	平均掘削深 H (m)	中詰高＋基礎厚 0.2+外径 E (㎡)	表層厚 上段は現況厚 Z1 Z1' (m)	路盤厚 Z2' (m)	掘削 人力 A=W×(H-Z1)×L (m³)	掘削 バックホウ A=W×(H-Z1)×L (m³)	埋め戻し Aゾーン タンパ (H-E-舗装)×W×L (m³)	埋め戻し 中詰砂 (E×W－管断面)×L' (m³)		残土 A-(流用土/0.9) (m³)	摘要
1	810-2	824-1-6 810-2-1	φ200	4.40	3.95	1.02 0.80	1.28 1.04	1.16	0.416	0.04	0.10		4.5	(0.88) 2.5	1.2		1.7	素掘 0.28
2	810-2	810-2-1 810-2-2	φ150	5.10	5.10													露出
3	810-2	810-2-2 810-2-3	φ150	12.00	12.00													露出
4	810-2	810-2-3 810-2-4	φ150	5.30	6.60													露出
5	810-2	810-2-4 810-2-5	φ200	4.20	3.83	0.90	1.75 1.58	1.67	0.416	0.04	0.10		6.2	4.2	1.3		1.5	軽量 0.28
6	810-2	810-2-5 810-2-7	φ200	48.70	47.88	0.90	1.58 1.45	1.52	0.416	0.04	0.10		64.9	42.3	16.2		17.9	軽量 0.28
7	810-2	810-2-7 810-2	φ200	7.70	6.80	0.90	1.45 1.74	1.60	0.416	0.04	0.10		10.8	7.2	2.4		2.8	軽量 0.28
8	816	817-2 816-1	φ200	5.00	4.26	1.04 0.80	1.21 1.24	1.23	0.416	0.04	0.10		5.5	(0.88) 3.2	1.4		1.9	素掘 0.28
9	816	816-1 816-2	φ200	21.00	20.51	1.01 0.80	1.24 0.94	1.09	0.416	0.04	0.10		20.0	(0.88) 10.6	6.4		8.2	素掘 0.28
10	816	816-2 816-3	φ200	13.00	12.35	1.06 0.80	0.94 1.69	1.32	0.416	0.04	0.10		15.5	(0.88) 9.6	3.9		4.8	素掘 0.28
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		
合　計				126.40	123.28								127.4	79.6	32.8		38.8	

土　留　工　集　計　表

補助

路線番号	路線延長	平均掘削深	土留種類	素　掘	軽量鋼矢板								備　考
					H = 2.00 m 支保工1段	H = 2.50 m 支保工1段	H = 2.50 m 支保工2段	H = 3.00 m 支保工2段	H = 3.50 m 支保工2段	H = 4.00 m 支保工2段	H = 4.00 m 支保工3段		
810-2	4.40	1.16	素掘	4.40									
810-2	5.10		露出										
810-2	12.00		露出										
810-2	5.30		露出										
810-2	4.20	1.67	軽量		4.20								
810-2	48.70	1.52	軽量		48.70								
810-2	7.70	1.60	軽量		7.70								
816	5.00	1.23	素掘	5.00									
816	21.00	1.09	素掘	21.00									
816	13.00	1.32	素掘	13.00									
小　計	126.40			43.40	60.60								

汚 水 管 布 設 工（ＰＥφ１５０）

名　　称	形状寸法	単位	算　　式	数量
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管布設工	融着接合 φ150	m	T字管 33.19　－　0.38	32.81
ダクタイル管布設工	フランジ接合 φ150	m	T字管 0.38	0.38
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管継手工	融着接合　2口 φ150	箇所	カラー 10	10
〃	融着接合　1口 φ150	個所	直管　　曲管 2　＋　1	3
フランジ継手工	φ150	口		3
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管切断工	φ150	箇所	3　＋　2	5
接続金具設置工	φ150	個所		12
コンクリート削孔	φ150	箇所		1

汚 水 管 材 料 集 計 表　(PEφ150)

名　　称	形状寸法	単位	管長	図面別数量						数量計	管種口径別							
				平面図・詳細図							延　長		ＥＦ接合		受　口			
				図面番号4					切管調書			PE-150	1口	2口	ﾒｶﾆｶﾙ	ﾌﾗﾝｼﾞ		
片受け直管	EF受口 φ150×5,000	本	5.00					(切管延長)	7.04 2	2		7.04	2					
保護層付直管	φ150×5,000	本	5.00	3				(切管延長)	5.40 2	5		20.40						
曲　管	EF受口 φ150×90°	個	1.40	1						1		1.40	1					
保護層付曲管	φ150×90°	個	1.30	1						1		1.30						
保護層付曲管	φ150×45°	個	0.77	2						2		1.54						
保護層付曲管	φ150×22 1/2°	個	0.57	1						1		0.57						
保護層付カラー	EF受口 φ150	個		10						10				10				
保護層付 フランジ短管	φ150	個	0.28	2						2		0.56				2		
三受フランジ Ｔ字管	フランジ受口 φ150	個	0.38	1						1		0.38				1		
フランジ蓋	φ150	個		1						1								
フランジ接合材	φ150	個		3						3								
マンホール継手	φ150	個		2						2								
支持金具	φ150	組		12						12								
										計		33.19	3	10		3	計	

PEφ150　切管調書

略　　図	甲切管			乙切管									計	残	切断溝切	溝切	切断	購入形式
	番号	形状	長さ	番号	形状	長さ	番号	形状	長さ	番号	形状	長さ						
3.44　残1.56	①		3.44										3.44	1.56			1	
3.60　残1.40	②		3.60										3.60	1.40			1	
			7.04															
				直管 PEφ150			本		L = 5,000				7.04	2.96			2	

保護層付　PEφ150　切管調書

略　　図	甲　切　管			乙　切　管									計	残	切断 溝切	溝切	切断	購入 形式
	番号	形状	長　さ	番号	形状	長　さ	番号	形状	長　さ	番号	形状	長　さ						
残0.83　4.17				①		4.17							4.17	0.83			1	
残3.77　0.83　0.40				②		0.83	③		0.40				1.23	3.77			2	
				直管 PEφ150			本		L = 5,000				5.40	4.60			3	

1号組立式マンホール数量計算書

補助

路線番号	人孔番号 (No.)	人孔深 (m)	流出管 管種	流出管 管径 / 管底高 (m)	流入管 管種	流入管 管径 (mm)	流入管 管底高 (m)	流入管 落差 (m)	流入管 角度 (°)	削孔	副管 管径 (mm)	副管	調整高 (mm)	底版	コンクリート部材 (cm) 躯体 60	躯体 90	躯体 120	躯体 150	躯体 180	直壁 30	直壁 60	直壁 90	直壁 120	直壁 150	直壁 180	斜壁 30	斜壁 45	斜壁 60	斜壁 15	調整リング 5	調整リング 10	調整リング 15	無収縮モルタル (袋) 10.5	無収縮モルタル 12.5	無収縮モルタル 21.0	無収縮モルタル 25.0	蓋・受枠	備考
				200	VU	200	39.440	0.361		1																												No.815.814 VU200が流入
816	816-3	1.581	VU	39.079	VU	200	39.099	0.020		1			31	1			1									1					1				1		1	T-14
1 底部工				N=	1	箇所		副管高	150		100																										
2 ブロック据付工				H≦3.0	1	箇所			200	2	150																										
				3.0<H≦4.0		箇所		合 計	250		200			1			1									1					1				1		1	3

0号組立式マンホール数量計算書

補助

路線番号	人孔番号 (No.)	人孔深 (m)	流出管 管種	流出管 管径 / 管底高 (m)	流入管 管種	流入管 管径 (mm)	流入管 管底高 (m)	流入管 落差 (m)	流入管 角度 (°)	削孔	副管 管径 (mm)	副管	調整高 (mm)	底版	コンクリート部材 (cm) 躯体 60	躯体 90	躯体 120	躯体 150	躯体 180	直壁 30	直壁 60	直壁 90	直壁 120	直壁 150	直壁 180	斜壁 30	斜壁 45	斜壁 60	斜壁 15	調整リング 5	調整リング 10	調整リング 15	無収縮モルタル (袋) 10.5	無収縮モルタル (袋) 12.5	無収縮モルタル (袋) 21.0	無収縮モルタル (袋) 25.0	蓋・受枠	備考
				150																																		
810-2	810-2-5	1.474	PE	16.978	VU	200	17.060	0.082		1			24	1		1											1					1	1				1	T-14
1 底部工				N=	1	箇所		副管高	150		100																											
2 ブロック据付工				H≦2.0	1	箇所			200	1	150																											
				2.0＜H≦3.0		箇所		合 計	250		200			1		1											1					1	1				1	1

1 号 組 立 式 マ ン ホ ー ル 底 部 工

名　称	計　算　式	単位	数 量
設置箇所	1　+	箇所	1
	1 箇所当り		
ｺﾝｸﾘｰﾄ工	V = π/4 × 0.90 ^{2} ×(0.17 + 0.20 / 2) − π/4× 0.20 ^{2} × 1/2 × 0.90	m^3	0.16
t= 0.20m 砕石基礎工	A = π/4 × 1.10 ^{2}	m^2	0.95
型 枠 工	A = π × 0.20 × 1/2 × 0.90	m^2	0.28
モルタル上塗り工	A = π/4 × 0.90 ^{2} − 0.20 × 0.90 + π × 0.20 × 0.90 ／ 2	m^2	0.74

0 号 組 立 式 マ ン ホ ー ル 底 部 工

名　称	計　算　式	単位	数 量
設置箇所	1　+	箇所	1
	1 箇所当り		
ｺﾝｸﾘｰﾄ工	V = π/4 × 0.75 ^{2} ×(0.17 + 0.175 / 2) − π/4× 0.175 ^{2} × 1/2 × 0.75 (0.20 + 0.15)/ 2 ＝ 0.175	m^3	0.10
t= 0.20m 砕石基礎工	A = π/4 × 0.95 ^{2}	m^2	0.71
型 枠 工	A = π × 0.175 × 1/2 × 0.75	m^2	0.21
モルタル上塗り工	A = π/4 × 0.75 ^{2} − 0.175 × 0.75 + π × 0.175 × 0.75 ／ 2	m^2	0.52

塩ビ製小型マンホール数量計算表

管径　#REF!　　補助

路線番号	マンホール番号	マンホール深	インバート							立上り	マンホール継手	内蓋	防護蓋			備考
			起点	中間点	屈曲点	落差点		合流点								
			KT	ST	15～90L	DR	MH	45Y	90Y	MVR	KDRS	CVR	T-25	T-14	T-8	
		m	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	m	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	
810-2	No.810-2-7	1.422			1							1		1		
816	No.816-1	1.127			1							1		1		
816	No.816-2	0.827			1							1		1		
計	3	3.376			3							3		3		

VU 150

桝取付管材料及び土量計算書

補助

番号	路線番号	人孔番号 No.	本管掘削控除 (m)	左右別	取付ヶ所数 K (ヶ)	取付深(桝深) H (m)	1ヶ所当り 取付管延長 L (m)	1ヶ所当り 土工延長 L1 (m)	総取付管延長 L×K (m)	掘削幅 上幅 下幅 (m)	支管取付ヶ所数 本管径φ200 (ヶ所)	取付管材料(φ150) 直管 SRB (本)	コンパクト90°支管 φ200−φ150 (本)	90°可とう支管 φ200−φ150 (本)	マンホール用可とう継手 (本)	異径ソケット φ200−φ150 (本)	60°曲管 (本)	キャップ (本)	掘削 掘削量 (m³)	埋戻し 流用土 (m³)	残土 掘削量−(流用土埋戻/0.9) 残土 (m³)	基礎 h=0.365 砂基礎 (m³)	軽量鋼矢板 (m)	支保工 (m)	舗装厚 表層 路盤	摘要
1	810−2	No.810−2−5 No.810−2−7	0.45	R	3	1.00	1.00	0.55	3.00	0.73 0.55	1	4		3				3	1.12	0.66	0.39	0.32			0.04 0.10	図面番号2、10 アメニティーA、B、C
2	816	No.816−2 No.816−3	0.40	R	1	1.00	2.50	2.10	2.50	0.73 0.55	1	4		1				1	1.42	0.84	0.49	0.40			0.04 0.10	図面番号3、10 駐車場
3																										
4																										
5																										
6																										
7																										
8																										
9																										
10																										
11																										
12																										
13																										
14																										
15																										
16																										
17																										
18																										
19																										
計					4			2.65	5.50		2	8		4				4	2.54	1.50	0.88	0.72				

舗 装 集 計 表

補助

工　　種	計上寸法	本管部 計算書 ①	本管部 計算書 ②	本管部 計算書 ③	取付管部 計算書 ①	取付管部 計算書 ②	取付管部 計算書 ③	単位	数 量
1 舗装切断工									
	As　15cmまで	208.0			7.5			m	215.5
2 舗装版破砕工									
	As 4cm	99.2			2.7			m^2	101.9
	Co 10cm							m^2	
3 路盤掘削工									
	路盤 10cm							m^3	
								m^3	
								m^3	
								小計	
4 As舗装工									
表層工(市道・車道)	再生密粒度As t=4cm							m^2	
表層工(市道・車道)	コンクリート t=10cm							m^2	
5 路盤工									
路盤工(市道・車道)	再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ RC-30　t=11cm	99.2			2.7			m^2	101.9
路盤工(市道・車道)	再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ RC-30　t=20cm							m^2	
6 仮復旧工									
表層工(市道・車道)	再生密粒度As t=3cm	99.2			2.7			m^2	101.9
								m^2	
7 舗装版破砕工(仮復旧)									
	ﾊﾞｯｸﾎｳ直接掘削　As t=3cm							m^2	
8 舗装のための掘削									
	ﾊﾞｯｸﾎｳ0.28m^3							m^3	
9 残土運搬処分工	一般残土							m^3	
	Asガラ	4.1			0.1			m^3	4.2
	Coガラ							m^3	
10 区画線工	外側線 w=15cm(白)							m	
	中央線 w=15cm(黄)							m	
	停止線 w=30cm（白）							m	
	停止線 w=45cm（白）							m	
	横断歩道 w=45cm（白）							m	
	文字(止まれ) w=15cm(白)							m	
	文字(ｽｸｰﾙｿﾞｰﾝ) w=15cm(白)							m	
	記号(⊥) w=15cm(白)							m	
	記号(◇) w=15cm(白)							m	

舗装復旧計算書(本管部分)

補助

計算書 ①

番号	路線番号	人孔番号	区間距離 L (m)	道路幅員 W1 (m)	掘削幅 B (m)	影響幅 (左) B1 (m)	影響幅 (右) B2 (m)	影響幅 (左) C1 (m)	影響幅 (右) C2 (m)	表層復旧幅 a (m)	路盤復旧幅 b (m)	舗装工 D=a×L 表層工 密粒As (㎡)	舗装工 D=a×L 表層工 密粒As t=4cm (㎡)	舗装工 D=a×L 表層工 Co t=10cm (㎡)	仮復旧工 E=b×L 密粒As t=3cm (㎡)	路盤工 E=b×L 上層路盤工 再生粒調砕石 t=11cm (㎡)	路盤工 E=b×L 路盤工 切込砕石 t=11cm (㎡)	路盤工 E=b×L 路盤工 切込砕石 t=20cm (㎡)	舗装のための掘削 (m³)	舗装取壊し (a+W1)×L As t=4cm (㎡)	舗装取壊し (a+W1)×L Co t=10cm (㎡)	仮舗装取壊 F t=3cm (㎡)	舗装切断 As L×2 (m)	舗装切断 Co (m)	残土処理 AS殻 t=4cm (m³)	残土処理 CO殻 t=10cm (m³)	残土処理 土砂 (m³)	摘要
								C1,C2>1.2mの時 C1,C2=0																				
1	810-2	824-1-6 810-2-1	4.40	5.15	1.02						1.02				4.5	4.5				4.5			8.8		0.2			
2	810-2	810-2-1 810-2-2	5.10																									
3	810-2	810-2-2 810-2-3	12.00																									
4	810-2	810-2-3 810-2-4	5.30																									
5	810-2	810-2-4 810-2-5	4.20	2.00	0.90						0.90				3.8	3.8				3.8			8.4		0.2			
6	810-2	810-2-5 810-2-7	48.70	2.00	0.90						0.90				43.8	43.8				43.8			97.4		1.8			
7	810-2	810-2-7 810-2	7.70	2.00	0.90						0.90				6.9	6.9				6.9			15.4		0.3			
8	816	817-2 816-1	5.00	3.10	1.04						1.04				5.2	5.2				5.2			10.0		0.2			
9	816	816-1 816-2	21.00	3.10	1.01						1.01				21.2	21.2				21.2			42.0		0.8			
10	816	816-2 816-3	13.00	3.10	1.06						1.06				13.8	13.8				13.8			26.0		0.6			
11																												
12																												
13																												
14																												
15																												
計			126.40												99.2	99.2				99.2			208.0		4.1			

舗装復旧計算書(取付管部分)

補助

計算書 ①

番号	路線番号	人孔番号	左右別	取付管長 (m)	本掘削幅 (m)	水路幅 (m)	取付箇所数 (箇所)	舗装長 L (m)	掘削幅 B (m)	影響幅 (左) B1 (m)	影響幅 (右) B2 (m)	影響幅 (左) C1 (m)	影響幅 (右) C2 (m)	表層復旧幅 a (m)	路盤復旧幅 b (m)	舗装工 D=a×L 表層工 密粒As (㎡)	舗装工 D=a×L 表層工 密粒As t=4cm (㎡)	舗装工 D=a×L 基層工 Co t=10cm (㎡)	路盤工 E=b×L 上層路盤工 粒調砕石 (㎡)	路盤工 E=b×L 路盤工 切込砕石 t=11cm (㎡)	路盤工 E=b×L 路盤工 切込砕石 t=20cm (㎡)	仮復旧工 F=B×L ﾀﾝﾊﾟ 再生密粒 t=3cm (㎡)	舗装のための掘削 (路盤すきとり) (m^3)	舗装取壊し As t=4cm (㎡)	舗装取壊し Co t=10cm (㎡)	仮舗装取壊 F t=3cm (㎡)	舗装切断 As L×2 (m)	舗装切断 Co (m)	残土処理 AS殻 t=4cm t=3cm (m^3)	残土処理 CO殻 t=10cm (m^3)	残土処理 土砂 (m^3)	摘要
												C1,C2>1.2mの時 C1,C2=0																			
1	810-2	810-2-5 810-2-7	R	1.00	0.45		3	0.55	0.73						0.73					1.2		1.2		1.2			3.3		0.05			
2	816	816-2 816-3	R	2.50	0.40		1	2.10	0.73						0.73					1.5		1.5		1.5			4.2		0.06			
3																															
4																															
5																															
6																															
7																															
8																															
9																															
10																															
11																															
12																															
13																															
14																															
15																															
16																															
17																															
18																															
19																															
計																				2.7		2.7		2.7			7.5		0.11			

既設構造物撤去工　数量計算書

名　　称	算　　出	単 位	数　　量
構造物撤去工			
既設側溝	1.70 + 3.40 + 2.46	㎥	7.56
既設集水桝	2.33	㎥	2.33
殻運搬処理工			
Con殻処分	無筋Con	㎥	10

日 数 計 算 （ 矢 板 ）

管径 D= 200
軽量鋼矢板 H= 2.0 BH0.28

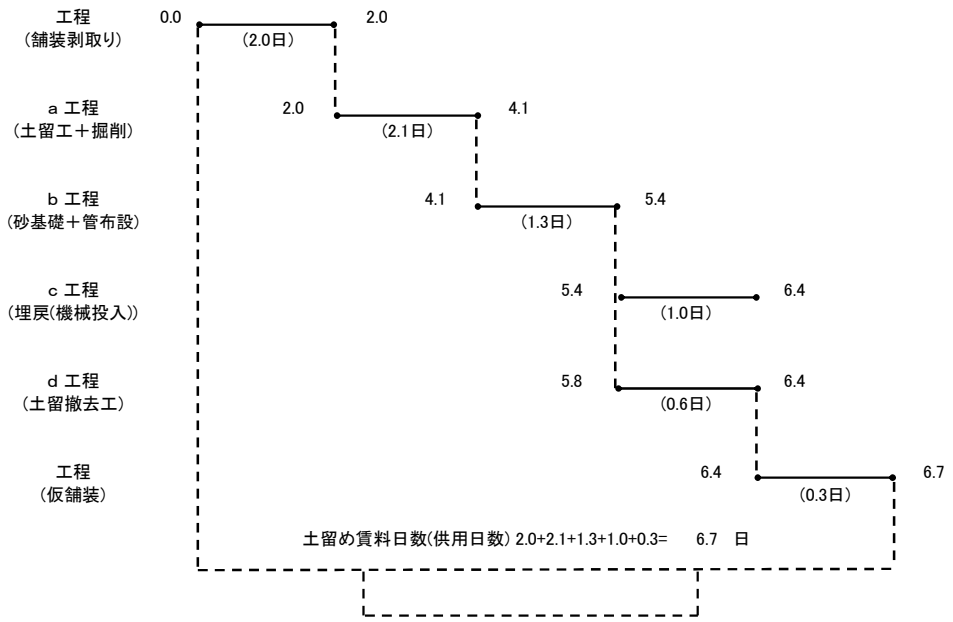
平均掘削深 2.0m以下

標準施工延長 30.0 m

種 別	工 種	計 算 式	実日数	供用日数 1.4
工程	舗装切断	30.0 m × 2 ＝ 60.0 m 60.0 m÷ 230 m/日 ＝ 0.26 日	1.43	2.0 日
	舗装剥取り	30.0 m × 0.90 ＝ 27.0 m^2 27.0 m^2÷ 23 m^2/日 ＝ 1.17 日		
a 工程	軽量鋼矢板土留（建込+設置）	100 m ÷ 2.6 日 ＝ 38.46 m/日 30.0 m ÷ 38.46 m/日 ＝ 0.78 日	1.47	2.1 日
	掘 削	81.9 m3÷ 60.60 m × 30 m ＝ 40.54 m3 40.54 m3÷ 59 m3/日 ＝ 0.69 日		
	土留工＋掘削	0.78 日 ＋ 0.69 日 ＝ 1.47 日		
b 工程	砂基礎工（機械投入）	19.9 m3÷ 60.60 m × 30 m ＝ 9.85 m3 9.85 m3÷ 85 ＝ 0.12 日	0.93	1.3 日
	（転圧作業）	19.9 m3÷ 60.60 m × 30 m ＝ 9.85 m3 9.85 m3÷(36 m3/日 × 1 台) ＝ 0.27 日		
	管布設工	10 m ÷ 0.22 人 ＝ 45.45 m/日 30.0 m ÷ 45.45 m/日 ＝ 0.66 日		
	砂基礎＋管布設	0.27 日 ＋ 0.66 日 ＝ 0.93 日		
c 工程	埋戻工（機械投入）	53.7 m3÷ 60.60 m × 30 m ＝ 26.58 m3 26.58 m3÷ 85 m3/日 ＝ 0.31 日	0.74	1.0 日
	（転圧作業）	53.7 m3÷ 60.60 m × 30 m ＝ 26.58 m3 26.58 m3÷(36 m3/日 × 1 台) ＝ 0.74 日		
d 工程	軽量鋼矢板（引抜+撤去）	100 m ÷ 1.4 日 ＝ 71.43 m/日 30.0 m ÷ 71.43 m/日 ＝ 0.42 日	0.42	0.6 日
	土留工	0.42 日 ＝ 0.42 日		
工程	路盤工	27.0 m^2÷ 268 m^2/日 ＝ 0.10 日	0.21	0.3 日
	仮舗装	27.0 m^2÷ 250 m^2/日 ＝ 0.11 日		
		0.10 日 ＋ 0.11 日 ＝ 0.21 日		

※ a工程：土留工＋掘削とする。
b工程：転圧機械（タンパ）を1台使用する。
c工程：転圧機械（タンパ）を1台使用する。
機械投入と転圧作業の大きいほうを選択する。
d工程：b工程が終了して開始とする。

工程表



土留め転用回数 60.6 m ÷ 30 m ＝ 2.1 回

土留め供用日数 2.1 回 × 6.7 日 ＝ 14.1 日 ≒ 15 日

水替え供用日数 日 × 2.1 回 ＝ 日 ≒ 日

交通整理員実日数 14.1 日 ／ 1.4 ＝ 10.1 日 ≒ 11 日

設置重量 ＝ 30 / 0.25 × 2 × 2.0 × 0.0148 ＝ 7.1 t

日 数 計 算 (素 掘)

管径 D= 200

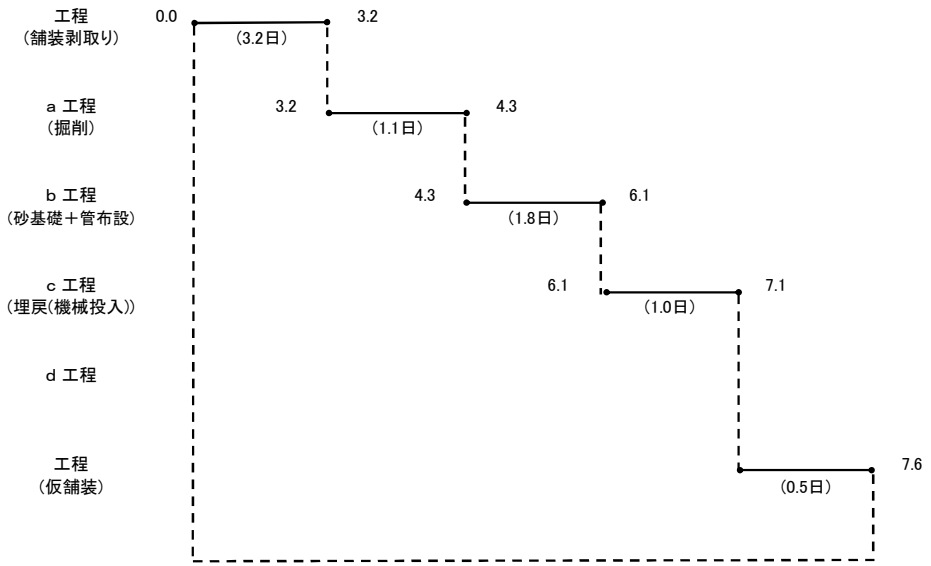
BH0.28

施工延長
43.4 m

種 別	工 種	計 算 式	実日数	供用日数 1.4
工程	舗装切断	43.4 m × 2 ＝ 86.8 m 86.8 m÷ 230 m/日 ＝ 0.38 日	2.27	3.2 日
	舗装剥取り	43.4 m × 1.00 ＝ 43.4 m^2 43.4 m^2÷ 23 m^2/日 ＝ 1.89 日		
a 工程			0.77	1.1 日
	掘 削	45.5 m3÷ 59 m3/日 ＝ 0.77 日		
	土留工＋掘削	日 ＋ 0.77 日 ＝ 0.77 日		
b 工程	砂基礎工 （機械投入）	12.9 m3÷ 85 ＝ 0.15 日	1.26	1.8 日
	（転圧作業）	12.9 m3÷(36 m3/日 × 1 台) ＝ 0.36 日		
	管布設工	10 m ÷ 0.22 人 ＝ 45.45 m/日 41.1 m ÷ 45.45 m/日 ＝ 0.90 日		
	砂基礎＋管布設	0.36 日 ＋ 0.90 日 ＝ 1.26 日		
c 工程	埋戻工 （機械投入）	25.9 m3÷ 85 m3/日 ＝ 0.30 日	0.72	1.0 日
	（転圧作業）	25.9 m3÷(36 m3/日 × 1 台) ＝ 0.72 日		
d 工程				
工程	路盤工	43.4 m^2÷ 268 m^2/日 ＝ 0.16 日	0.33	0.5 日
	仮舗装	43.4 m^2÷ 250 m^2/日 ＝ 0.17 日		
		0.16 日 ＋ 0.17 日 ＝ 0.33 日		

※ a工程：掘削とする。
b工程：転圧機械（タンパ）を1台使用する。
c工程：転圧機械（タンパ）を1台使用する。
機械投入と転圧作業の大きいほうを選択する。
舗装幅は、1.0mとして計算する。

工程表



交通整理員実日数 7.6 日 ／ 1.4 ＝ 5.4 日 ≒ 6 日

日 数 計 算 （ 取 付 工 ）

管径 D= 150

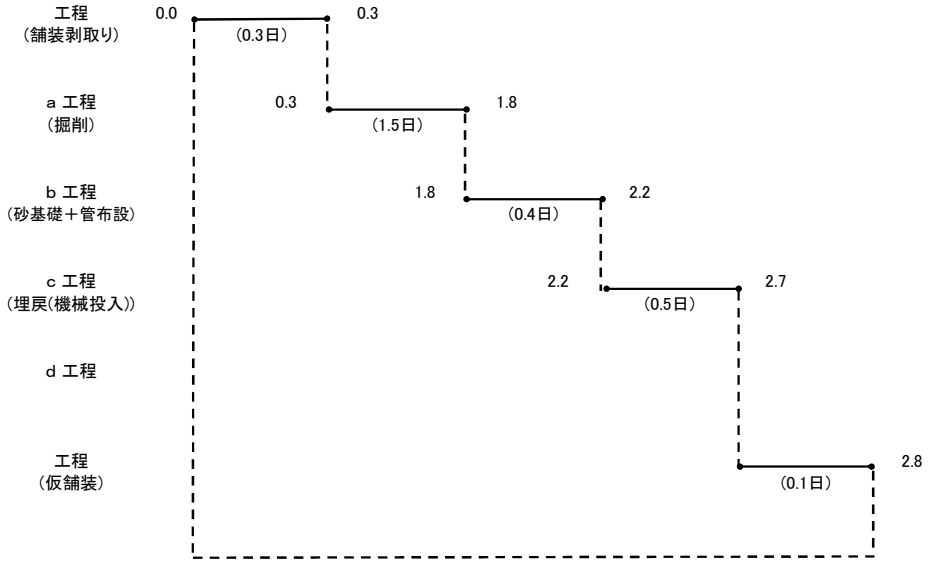
施工延長
5.5 m

人力

種 別	工 種	計 算 式	実日数	供用日数 1.4
工程	舗装切断	5.5 m × 2 ＝ 11.0 m 11.0 m÷ 230 m/日 ＝ 0.05 日	0.24	0.3 日
	舗装剥取り	5.5 m × 0.80 ＝ 4.4 m^2 4.4 m^2÷ 23 m^2/日 ＝ 0.19 日		
a 工程			1.06	1.5 日
	掘 削	2.54 m3÷ 2.4 m3/日 ＝ 1.06 日		
	土留工＋掘削	日 ＋ 1.06 日 ＝ 1.06 日		
b 工程	砂基礎工 （機械投入）	0.7 m3÷ 4.3 ＝ 0.17 日	0.26	0.4 日
	（転圧作業）	0.7 m3÷(36 m3/日 × 1 台) ＝ 0.02 日		
	管布設工	1 m ÷ 0.017 人 ＝ 58.82 m/日 5.5 m ÷ 58.82 m/日 ＝ 0.09 日		
	砂基礎＋管布設	0.17 日 ＋ 0.09 日 ＝ 0.26 日		
c 工程	埋戻工 （機械投入）	1.5 m3÷ 4.3 m3/日 ＝ 0.35 日	0.35	0.5 日
	（転圧作業）	1.5 m3÷(36 m3/日 × 1 台) ＝ 0.04 日		
d 工程				
工程	路盤工	4.4 m^2÷ 268 m^2/日 ＝ 0.02 日	0.04	0.1 日
	仮舗装	4.4 m^2÷ 250 m^2/日 ＝ 0.02 日		
		0.02 日 ＋ 0.02 日 ＝ 0.04 日		

※ a工程：掘削とする。
b工程：転圧機械（タンパ）を1台使用する。
c工程：転圧機械（タンパ）を1台使用する。
機械投入と転圧作業の大きいほうを選択する。
舗装幅は、0.8mとして計算する。

工程表



交通整理員実日数 2.8 日 ／ 1.4 ＝ 2 日 ≒ 2 日

工 程 算 出 数 量 集 計 表

工 種	種 別	区間距離 (m)	管渠延長 (m)	a工程 土留工 (m)	a工程 支保工 (m)	a工程 掘削工 (m3)	b工程 砂基礎工 (m3)	b工程 管布設工 (m)	c工程 埋戻工 (m3)	備 考
素 掘	人力			—	—					
	BH0.13			—	—					
	BH0.28	43.40	41.07	—	—	45.50	12.90	41.07	25.90	
軽量鋼矢板 H=2.0m 支保工1段	人力									
軽量鋼矢板 H=2.5m 支保工1段	〃									
軽量鋼矢板 H=2.5m 支保工2段	〃									
軽量鋼矢板 H=2.0m 支保工1段	BH0.13									
軽量鋼矢板 H=2.5m 支保工1段	〃									
軽量鋼矢板 H=2.5m 支保工2段	〃									
軽量鋼矢板 H=2.0m 支保工1段	BH0.28	60.60	58.51	60.60	60.60	81.90	19.90	58.51	53.70	
軽量鋼矢板 H=2.5m 支保工1段	〃									
軽量鋼矢板 H=2.5m 支保工2段	〃									
軽量鋼矢板 H=3.0m 支保工2段	〃									
軽量鋼矢板 H=3.5m 支保工2段	〃									
軽量鋼矢板 H=3.5m 支保工3段	〃									
軽量鋼矢板 H=4.0m 支保工3段	〃									
素 掘	BH0.13	5.50	5.50	—	—	2.54	0.72	5.50	1.50	4 箇所
軽量鋼矢板 H=2.0m 支保工1段	取付									
軽量鋼矢板 H=2.5m 支保工1段	〃									
軽量鋼矢板 H=2.5m 支保工2段	〃									

山留長別数量集計表

路線番号	素掘り（人力）						素掘り（BH0.13）						素掘り（BH0.28）					
	区間距離	管渠距離	a工程	b工程		c工程	区間距離	管渠距離	a工程	b工程		c工程	区間距離	管渠距離	a工程	b工程		c工程
			掘削	砂基礎	管布設	埋戻工			掘削	砂基礎	管布設	埋戻工			掘削	砂基礎	管布設	埋戻工
810-2													4.40	3.95	4.5	1.2	4.0	2.5
810-2																		
810-2																		
810-2																		
810-2																		
810-2																		
810-2																		
816													5.00	4.26	5.5	1.4	4.3	3.2
816													21.00	20.51	20.0	6.4	20.5	10.6
816													13.00	12.35	15.5	3.9	12.4	9.6
小計													43.40	41.07	45.5	12.9	41.1	25.9

山留長別数量集計表

路線番号	軽量鋼矢板 H=2.0m (BH0.28)								軽量鋼矢板 H=2.5m 支保工1段 (BH0.28)								軽量鋼矢板 H=2.5m 支保工2段 (BH0.28)							
	区間距離	管渠延長	a工程			b工程		c工程	区間距離	管渠延長	a工程			b工程		c工程	区間距離	管渠延長	a工程			b工程		c工程
			土留工	支保1段	掘 削	砂基礎	管布設	埋戻工			土留工	支保1段	掘 削	砂基礎	管布設	埋戻工			土留工	支保2段	掘 削	砂基礎	管布設	埋戻工
810-2																								
810-2																								
810-2																								
810-2																								
810-2	4.20	3.83	4.2	4.2	6.2	1.3	3.8	4.2																
810-2	48.70	47.88	48.7	48.7	64.9	16.2	47.9	42.3																
810-2	7.70	6.80	7.7	7.7	10.8	2.4	6.8	7.2																
816																								
816																								
816																								
小 計	60.60	58.51	60.6	60.6	81.9	19.9	58.5	53.7																

損料日数及び仮設材運搬重量の算定

工種				
種別	細別	算式		数量
1、鋼材運搬				
搬入・搬出	軽量鋼矢板 H=2.0m	W= 30.00 ／ 0.250 × 2.00 × 2		
		× 0.0148 ＝	7.104 t	
	軽量鋼矢板 H=2.5m	W= ／ 0.250 × 2.50 × 2		
		× 0.0148 ＝	t	
	軽量鋼矢板 H=3.0m	W= ／ 0.250 × 3.00 × 2		
		× 0.0148 ＝	t	
	軽量鋼矢板 H=3.5m	W= ／ 0.250 × 3.50 × 2		
		× 0.0148 ＝	t	
	軽量鋼矢板 H=4.0m	W= ／ 0.250 × 4.00 × 2		
		× 0.0148 ＝	t	
	合計		7.104 t	7.104 t
2、交通整理員				
本管	VUΦ200 素掘り	N=	6 日	
	VUΦ200 H=2.0m 1段	N=	11 日	
	VUΦ200 H=2.5m 1段	N=	日	
	VUΦ200 H=2.5m 2段	N=	日	
	VUΦ200 H=3.0m 2段	N=	日	
	VUΦ200 H=3.5m 2段	N=	日	
	VUΦ200 H=3.5m 3段	N=	日	
	VUΦ200 H=4.0m 3段	N=	日	
取付管	VUΦ150 素掘り	N=	2 日	
	VUΦ150 H=2.0m 1段	N=	日	
	VUΦ150 H=2.5m 1段	N=	日	
	VUΦ150 H=2.5m 2段	N=	日	
	小計		19 日	
	合計	19 日 × 2 人 ＝	38	38 人
3、開削水替工				
本管	VUΦ200 H=2.0m 1段	N=	日	
	VUΦ200 H=2.5m 1段	N=	日	
	VUΦ200 H=2.5m 2段	N=	日	
	VUΦ200 H=3.0m 2段	N=	日	
	VUΦ200 H=3.5m 2段	N=	日	
	VUΦ200 H=3.5m 3段	N=	日	
	VUΦ200 H=4.0m 3段	N=	日	
取付管	VUΦ150 H=2.0m 1段	N=	日	
	VUΦ150 H=2.5m 1段	N=	日	
	VUΦ150 H=2.5m 2段	N=	日	
	合計			日

支保材賃料(H＝2.0m) 算定表

腹起し材　　軽量鋼矢板　アルミ腹起し　管埋設工事用　B70～80　H115～130　L4000

日当たり施工量(m/日) ÷ 腹起し材長(m) × 1段の本数(本) ＝ 1スパン当り必要個数(本)

1スパン当り必要個数　　12　÷　　4 ×　　2 ＝　　6 本

賃料＝　基本料(円) × 1スパン当り本数(本)+ (賃料(円) × 共用日数(日) × 1スパン当り本数(本))

＝　　×　6　＋ (　　×　　7 ×　　6)＝　　円

切梁　　軽量鋼矢板　鋼製切梁サポート　管埋設工事用　調整長600～1000

1スパン当り必要個数　　12m(4m@2本),1段　　6 本

賃料＝　基本料(円) × 1スパン当り本数(本) + (賃料(円) × 共用日数(日) × 1スパン当り本数(本))

＝　　×　6　＋ (　　×　　7 ×　　6)＝　　円

※基本料、賃料は建設物価2025年6月号(P819)より引用